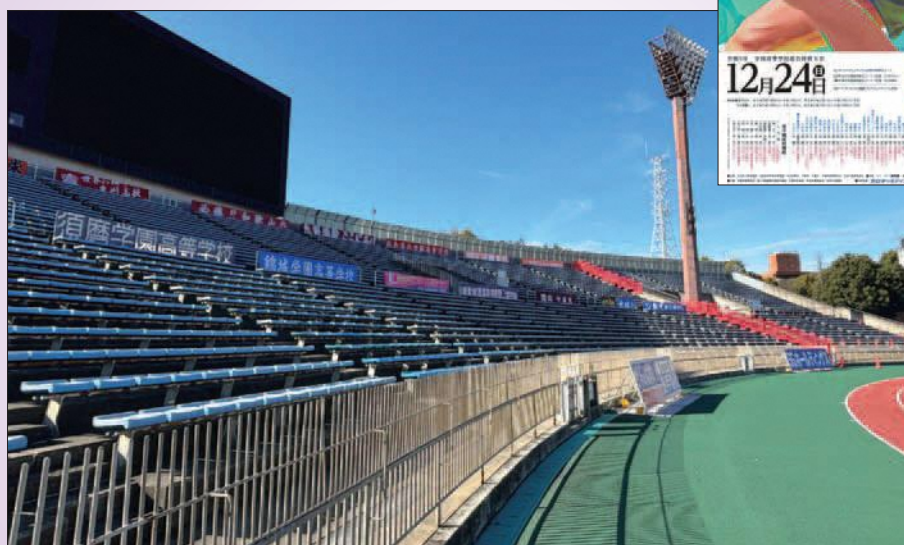


# 女子第35回全国高等学校 駅伝競走大会報告

## 健律愛



令和6年3月

秋田県立大曲高等学校  
全国高等学校駅伝競走大会選手派遣実行委員会

# ごあいさつ

秋田県立大曲高等学校

全国高等学校駅伝競走大会選手派遣実行委員会

委員長(陸上競技部親の会会長) 鈴木 茂 樹  
青麻会会長 鈴木 松右衛門  
P T A 会長 相馬 基 文  
陸上競技部OB会会長 大川 寿 孝  
校 長 伊藤 成 孝

日ごとに暖かくなり、すっかり春らしい陽気になりました。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、本校陸上競技部女子駅伝チームが3年連続9回目の全国大会出場の切符を手にし、昨年12月24日に京都市において開催されました女子第35回全国高等学校駅伝競走大会に出場いたしました。

この全国大会出場に際しまして、数多くに皆様から、多大なご芳志とご支援ご声援を賜りましたことに、青麻会、P T A、陸上競技部OB会、学校、陸上競技部親の会など関係者一同、心より厚くお礼申し上げます。

皆様のご支援が選手の後押しとなり、サポートする生徒とも一丸となって精一杯のパフォーマンスを見せてくれました。残念ながら、目標順位、目標タイムともに上回ることができませんでしたが、大曲高校らしい粘り強い走りで襷を繋げることができました。

募金をお寄せくださいました収支につきましては、本紙記載のとおりでありますので、ご高配賜りますようご報告申し上げます。

なお、御芳名簿と金額につきましては、個人情報保護のため掲載しないことをご了承ください。また、頂戴いたしました募金残金につきましては駅伝寄付金管理委員会の管理下において、今後の本校陸上競技部の強化費に充てさせていただきたいと存じますので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

現在、3年生の1人が抜け、新チームとなって始動しております。春には新入生も加わることで、四年連続で都大路で躍動する選手の姿が見られることを期待しているところであります。

皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げますとともに、これまで賜りましたご厚情に、一同重ねて厚くお礼申し上げます。

## 女子第35回全国高等学校駅伝競走大会派遣費

収入総額 4,740,480円  
支出総額 3,161,914円  
差引残額 1,578,566円

### 収入の部

(単位円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
寄付金	5,000,000	3,944,000	△1,056,500	1,939件
雑収入	0	22,560	22,560	日本陸連交付金、預金利息(10円)
繰入金	700,000	673,920	△26,080	大曲高校PTA拠出金他
補助金	100,000	100,000	0	全国大会サポート事業補助金
合計	5,800,000	4,740,480	△1,059,520	

### 支出の部

(単位円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
選手等派遣補助	4,100,000	2,348,224	△1,751,776	東海大記録会、本大会他
用具費	500,000	374,458	△125,542	ウェア他選手用具
事務費	350,000	266,125	△83,875	芳名簿作成、郵送料他
報告費	80,000	78,540	△1,460	大会出場報告書
広告費	120,000	88,220	△31,780	秋田魁新報社、秋田毎日広告社
雑費	50,000	6,347	△43,653	ゆうちょ銀行寄付金取扱手数料
予備費	600,000	0	△600,000	
合計	5,800,000	3,161,914	△2,638,086	

決算残余金については、秋田県立大曲高等学校陸上競技部女子駅伝チーム強化基金管理委員会に繰入し、年次計画の下に、選手強化に充てさせていただきますので、ご理解賜りますよう、よろしく申し上げます。



# 女子第35回全国高等学校駅伝競走大会

期 日 2023年12月24日(日)

コース たけびしスタジアム京都をスタート、フィニッシュとする  
たけびしスタジアム京都付設駅伝コース(女子全国高校駅伝コース)

女 子 21.0975km 5区間

第1区 6km(たけびしスタジアム京都～衣笠校前)

第2区 4.0975km(衣笠校前～烏丸鞍馬口)

第3区 3km(烏丸鞍馬口～室町小学校前折返し～北大路船岡山)

第4区 3km(北大路船岡山～西大路下立売)

第5区 5km(西大路下立売～たけびしスタジアム京都)

## 記録 57位 1時間17分14秒

第1区	鈴木彩花	②	区間54位	22'17
第2区	菅原莓波	③	区間53位	14'37
第3区	鈴木来都	②	区間57位	11'28
第4区	細井杏桜	②	区間54位	10'48
第5区	藤村愛歩	①	区間52位	18'04

## 全国高校駅伝競走大会出場に出場して

大曲高等学校陸上競技部駅伝チーム監督 小澤裕子

昭和から元号が変わった平成元年、全国高等学校女子駅伝競走大会がスタートし今年で第35回を迎えました。また、本校にとって創立115周年という節目の年、3年連続9回目の全国駅伝出場を果たしました。

この度、全国駅伝出場するにあたり、たくさんの方々からご支援そして温かいご声援を賜り、心から感謝申し上げます。また日頃から本校陸上競技部に、ご理解とご協力をいただいております関係者にも厚くお礼申し上げます。

去る10月、伝統がある校舎から新校舎に移転し新生活がスタートした直後、OG鈴木優花選手がMGC優勝し、パリオリンピック内定という吉報が届きました。さらに2週間後の全国駅伝秋田県予選会では、「大曲から世界へ」羽ばたく先輩の頑張りに奮起した後輩たちが、その勢いを受け継ぎ、全国駅伝の切符を手中に収めました。

そして12月24日の本大会は、1時間17分14秒という結果で、一瞬で幕が閉じました。会場内の張り詰めた空気は例年と変わりませんでした。今回から応援の自粛もなくなり途切れることのない沿道からの声援は選手たちにとって夢舞台だったようです。そんな貴重な経験の中、選手たちは精一杯頑張りましたが描いていた青写真とはほど遠いものでした。コンディショニングも含め最終調整の甘さから、選手の輝きを引き出すことのできなかったという大きな課題が残り、改めて駅伝の難しさや糧の重さを認識しました。この悔しさを糧に「リベンジ」を誓い、来年度に向け始動しています。

結びになりますが、県民や地域のみなさん、そして学校関係者の方々はじめ多くの方々を支えていただき競技ができますこと、心から感謝申し上げます。まだまだ、未熟な若いチームです。可能性を秘めた期待の選手たちです。116周年の歴史に、夢と希望を掲げ、更なる飛躍を目指し邁進したいと思っております。今後とも、よろしく願いいたします。





半にかけて上りがきついため、いつもの6キロより長い長い道のりに感じました。そして、苦しい悔しいレースとなりました。来年は、もっと自分自身を強化し、チームの団結力を高め、リベンジしたいと思います。今度こそ、達成感のあるゴールを目指したいです。たくさんの応援とご支援をいただき、ありがとうございました。

## 2区 菅原 苺波

3年連続の都大路となり、今回は2区を走りました。これまでの経験を思い出しながら焦らず落ち着いて自分の走りをすることができました。長い下りが続

く二区では足への負担も大きく苦しい所もありましたが、今まで一緒に練習を乗り越えてきた仲間や支えてくれた方々への想いを胸に最後まで諦めずに走りました。また、年々道場で応援する人たちが増え、たくさんの声援をいただきとても力になりました。悔しい結果で終わってしまいましたが、3年間都大路という大舞台で走れたことは私にとって本当に良い経験になりました。これも、たくさんの方々の支えがあったからこそだと改めて実感感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

## 4区 細井 杏桜

全国駅伝を終え、悔しい結果だったと改めて感じました。今回、選手として走ることができ自分の中でもとても貴重なものとなりました。また、本当にたくさんの方々からの応援やサポートをいただきながらここまで来ることができ感謝でいっぱいです。だからこそ、走りで返したかったです。今年も都大路への切符を掴み取り、全国のチームと戦えるよう、日々、上を目指しながらチーム一丸となって頑張っていきたいです。本当に応援ありがとうございました。

## 5区 藤村 愛歩

この度は全国駅伝での応援ありがとうございました。憧れていた夢の舞台で走ることができたのは、貴重な経験となりました。留学生をはじめ、速い選手、強い選手が多く、私で順位が決まると考えると責任を感じました。しかし、今までやってきたことを信じ、ゴールに向かいました。走った後、もっともっと力をつけなければ…と思いました。

日頃から声をかけてくださる地域の方々、応援してくださるの方々、本当にありがとうございました。もっと成長した姿を見せられるよう頑張ります。

## 3区 鈴木 来都 (主将)

私たちが全国駅伝出場するにあたり、たくさんのご声援をいただき、本当にありがとうございました。今回は1、2年生が主体の若いチームであり、不安もありました。しかし、共に支え合ってきた仲間とともに、全国駅伝出場を決めた瞬間は本当に嬉しかったです。同時に、これまで支えてくださった方々への恩返しをしたいという決意が変わった瞬間でもありました。

大会当日は、独特な雰囲気から緊張しましたが、これまでやってきたことを信じて走りました。たくさん声援の中で走ることができることに喜びをかみしめながら必死で前を追いかけてきました。結果は1時間17分14秒で57位。目標には届かず悔しい結果となり、全国で戦うための実力が足りないことを痛感しました。また、たくさんの課題を見つけることができました。

都大路で見た景色、感じたこと、経験などを活かし、少しでも上を目指し、再挑戦したいと思います。今後ともご支援くださいますようお願いします。

## 1区 鈴木 彩花

全国のトップランナーが集う一区は、最長区間の6キロです。その空気感に圧倒され、緊張の連続でした。後





## 本間 翔子

私にとって、2度目の全国駅伝でしたが、選手になれず悔しい大会となりました。この大会に懸ける選手たちの様子を見たからこそ感じた事も多く、競技生活に必ず役立つことばかりでした。今年もたくさんの方々の温かい応援をいただけたこと、共に練習してきたチームメイトや先生方に感謝の気持ちを伝えたいです。改めてたくさんの方々の応援、ありがとうございました。

## 戸澤 真穂

全国駅伝はサポートする立場で悔しかったですが、選手の事を考え一生懸命尽くすことができたと思います。都大路という舞台は、一段と緊張感や雰囲気で包まれていて、その中で自分の走りをするということの難しさや凄さを感じました。今大会から、自分やチームを見直すきっかけにもなり、これからの走りにしっかり繋げていけるようにしていきたいと強く思いました。応援ありがとうございました。

## 小松 咲菜

全国駅伝出場にあたり、たくさんのご声援とご支援ありがとうございました。日頃の練習の時にも地域の皆さんに声をかけていただき、とても力になっています。私は走ることは出来ませんでしたが、開会式や当日の選手の付き添いで全国大会の独特な雰囲気を感じることができ、たくさんの方々の収穫の多い大会でした。改めて全国との大きな差を知ることが出来たので、この悔しさを忘れずまた1年みんなでレベルアップしてこの舞台に戻って来てこれらるように頑張っていきたいと思っています。今回は本当にありがとうございました。

## 伊藤 夢彩

初めての都大路でたくさんの方々の事を得ることができました。県予選や東北大会とは景色や気迫が全然違う圧倒されました。強くて速い選手をこの目でみて自分も少しでも近づきたいと強く思いました。2024年もチーム一丸となり、個々の力をつけられるよう昨年以上に頑張ります。この度はたくさんの方々の応援、本当にありがとうございました。



## 嶋津 杏菜

全国駅伝大会が終了し、たくさんの方々のことを学びました。大会は、全てが初めてのことで、他県の選手の表情や走りに圧倒されました。全国で戦うにはまだまだ、力不足なことを改めて知りました。これから、もっとみんなとともに励まし合い、更なる高みを目指していきたいと思っています。応援してくださった皆様にも心から感謝申し上げます。新たなステージに向け全力でサポートしていきたいです。

## 高橋 侑愛

憧れの全国大会は、強豪校の走りやアップの仕方、会場の雰囲気を肌で感じて改めて、全国との力の差を感じました。この経験を無駄にせず、これからは活かしていきたいです。大会に出場できたのも練習をできていたのも地域の方や指導してくださる先生方、家族など多くの方の支えがあったからこそできたことだと思います。たくさんの方々のご声援、ご支援本当にありがとうございました。

## 木村 瑞希

この度はたくさんの方々のご支援とご声援をいただき、ありがとうございました。日頃から地域の皆さんには、たくさん声を掛けてくださりとても励みになります。私はマネージャーとして入部し、わからないことばかりでした。大会も緊張してましたが、先生や先輩がアドバイスをくれみんなでスタートした駅伝でした。悔しい結果で終わってしまった分、来年度こそはみなさんに感謝の走りを見せられるように、またサポートしたいと思います。これからも応援よろしくお願ひします。







# 健律愛

(つよく ただしく ゆたかに)



皆様の多大なご芳志とご支援ご声援  
ありがとうございました。

女子駅伝チーム 一同  
選手派遣実行委員会